

三井住友アセットマネジメント株式会社

【英国の小売売上高(5月) ~3カ月ぶりの低下、消費の基調は弱い~】

平素は弊社をお引き立て賜り、厚く御礼申し上げます。英国の政府統計局が 18 日に発表した 5 月の小売売上高指数の内容などに基づき、以下のとおり弊社の見方をご報告申し上げます。

<ポイント>

- 5 月の小売売上高指数は前月比▲0.6%と市場予想を下回り、3 カ月ぶりに低下しました。
- 失業率上昇や賃金抑制など、雇用情勢の悪化が個人消費の悪材料となっています。
- 企業の景況感など一部の指標に改善も見られ始めましたが、当面の個人消費は低迷しそうです。

1. 1-3 月期に大きく悪化後、一部指標には改善も

英国景気は 09 年 1-3 月期に大きく悪化しましたが、積極的な財政支出の拡大や金融緩和政策の効果もあり、一部の経済指標では徐々に改善が見られてきました。

2. 3 カ月ぶりの低下、消費の基調は弱い

英国の 5 月の小売売上高指数は前月比▲0.6%と、市場予想の同 0.3%増(ブルームバーグ集計による予想中央値)を大きく下回りました。この要因には、食品を扱う店舗以外での売上が同▲1.5%と、大きく落ち込んだことが挙げられます。英国の小売売上高指数は 2 カ月連続で回復していましたが、消費の基調は依然として弱く、5 月には 3 カ月ぶりに減少に転じました。

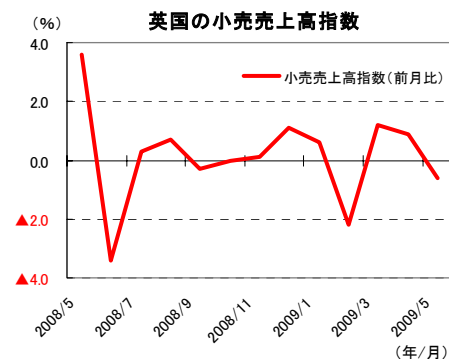
また、急落していた住宅価格(ネーションワイド住宅価格指数)の下落幅が 5 月に前年同月比▲11.3%と、2 月の同▲17.6%を底に縮小傾向にあることは消費や景気全体にとって好材料です。しかし、個人消費の回復が緩やかに留まっている背景として雇用情勢の悪化が挙げられます。悪化ペースは鈍化していますが、失業率は依然上昇を続けている(4 月時点で 7.2%、国際労働機関ベース)ほか、賃金の伸びも抑制傾向にあります。

3. 今後の市場見通し

英国では、企業の景況感調査など一部の経済指標に改善も見られ始めましたが、当面の個人消費は低迷しそうです。また、英国景気全体についても、雇用情勢の悪化継続や金融機関の貸出引き締め、主要な貿易相手であるユーロ圏の国々の景気悪化などが悪材料となり、今後とも回復ペースは緩やかとなりそうです。

英国の株式市場は、世界的に株価が持ち直す局面では上昇も予想されますが、英国景気の早期回復が難しいことから上値は重く、一進一退の推移が予想されます。債券市場は、景気低迷の長引きや中央銀行の国債購入などから、債券価格は底堅く推移しそうです。為替市場は、英国景気に対する慎重な見方などがポンドの上値を抑制しやすい状況ですが、概ね一進一退となりそうです。

■この資料は、情報提供に限定したものであり、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。



(出所) 英国政府統計局
 グラフは Bloomberg のデータを基に
 三井住友アセットマネジメント作成

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額は変動します。基準価額の変動要因としては、有価証券の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがって、お客さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用
 - …… 申込手数料 上限 3.675%（税込）
 - …… 換金（解約）手数料 上限 1.05%（税込）
 - …… 信託財産留保額 上限 0.5%
- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 …… 信託報酬 上限 1.995%（税込）
- ◆その他費用 …… 監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用、および外国における資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定されますので、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認ください。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております（平成 21 年 5 月 31 日現在）。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 399 号

加入協会：(社) 投資信託協会、(社) 日本証券投資顧問業協会

■この資料は、情報提供に限定したものであり、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。



三井住友アセットマネジメント株式会社

SMAM